

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					9007	鉛給水管対策事業【水道】					上下水道局	水道施設課
1 事業概要		中事業番号											所属コード	475000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	6.1									鉛給水管の布設替えを推進し、他工事等との同時施工による舗装復旧費用等のコスト削減で、早期の解消を図る。	安全で良質な水を安定的に供給する。また、腐食による漏水を防止する。		
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち													

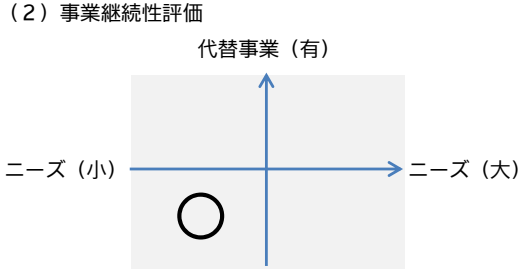
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
鉛給水管（個人の所有物）は管内にさびが発生せず、可とう性、柔軟性に富み、加工、修繕が容易で創設期から昭和51年頃まで使用されていたが、平成15年度から厚生労働省の通達で鉛濃度の溶出基準値を1リットル当たり0.05mg以下から0.01mg以下に強化された。 これにより、効率的に鉛給水管を解消するため、市街地で鉛給水管が多く使用されていた旧豊田配水区域を事業対象区域として平成14年度から公道内（維持管理委任部）の鉛給水管の布設替を開始した。		事業開始から23年が経過し事業対象区域が旧豊田配水区域から堀口、荒井配水区域へ移行し近年では郊外となっている。このため、作業効率の低下や人件費の高騰で1件当たりの布設替にかかるコストが増加している。		従来から取組んでいる浄水場でのPHコントロールや市民への広報活動を継続しながら、他工事や更新工事関連での鉛給水管の布設替えにより、効率のよい布設替を実施しコスト縮減と進捗率の向上を図る。 また、事業当初から行っている布設替の実施に必要な鉛給水管の基礎調査等を継続的に実施するとともに、これによる事業計画の見直しを行い効率的な事業の運営に努める。		給水装置工事申込に併せて布設替を推進する等、水道使用者のニーズに合わせて積極的な取組みを行っており、安全で良質な水の安定的な供給及び腐食による漏水防止への理解が得られている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		中間指標 2022年度	最終指標 2025年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画		
対象指標	鉛給水管残存件数	件		3,666		3,249		3,058								
活動指標①	鉛給水管布設替件数	件	450	395	450	417	450	191	250		250		250	250		
活動指標②																
活動指標③																
成果指標①	鉛製給水管率	%	2.5	2.5	2.2	2.2	1.9	2.1	1.5		1.1		0.8	0.4	2.5	1.5
成果指標②																
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	鉛給水管布設替 1 件あたりのコスト	千円		415		340		624	336		336		336	336		
単位コスト（所要一般財源から算出）	鉛給水管布設替 1 件あたりのコスト	千円														
事業費		千円		155,314		132,870		110,651	75,300		75,300		75,300	75,300		
人件費		千円		8,696		8,868		8,445	8,696		8,696		8,696	8,696		
歳出計（総事業費）		千円		164,010		141,738		119,096	83,996		83,996		83,996	83,996		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		164,010		141,738		119,096	83,996		83,996		83,996	83,996		
歳入計		千円		164,010		141,738		119,096	83,996		83,996		83,996	83,996		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続		継続							

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
・他工事や更新工事等による布設替が減少し、鉛給水管布設替においても、実施困難案件等により計画件数を下回った。		・他工事や更新工事等による布設替の減少、実施困難案件等により計画件数を下回り、計画どおりに実施することができなかった。		【事業費】 ・95%の布設替の進捗が見られ、対象件数が少なくなっている。また、実施の可否は所有者からの同意等に左右されるため、実施可能な布設替件数が減少したためである。	
				【人件費】 ・鉛給水管布設替件数が減少したことにより、人件費が減少している。	

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		3	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		3	
5 成果指標（目的達成度）		4	



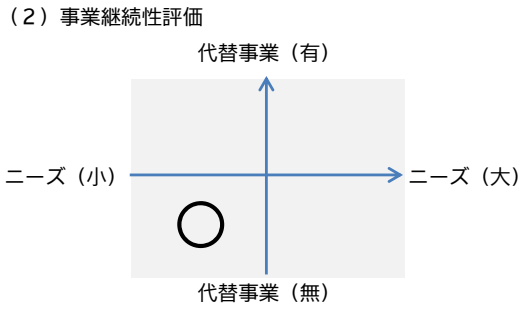
継続	一次評価コメント
	95%の布設替の進捗が見られることから鉛給水管対策事業としては完了を迎える時期に来ており、終息に向かうものの安全で良質な水を安定的に供給していく必要があることから、引き続き他工事や更新工事による効率的な布設替や個人の給水装置工事申込に合わせた布設替を実施する。また、鉛給水管の布設替を発注形態で面的に行ってきたが、近年は施工対象区域が広範囲に点在するため、郡山市管工事協同組合へ個別の依頼（随意契約）による単独の鉛給水管布設替にシフトし、残存する鉛給水管の布設替を収束していく。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
		○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		3	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		2	
5 成果指標（目的達成度）		4	



経常事業	二次評価コメント
	令和6年度においては、実施困難案件等により鉛給水管布設件数の計画値を下回った。鉛給水管率については、年々減少傾向となっている。 本事業の目的を達成するための手段は鉛給水管の布設替であるが、95%の進捗が図られており、残存している鉛給水管については狭小地により施工ができない箇所や水道利用者等の同意を得るのが困難な箇所などとなっている。そのため、令和6年度までは面的に整備する発注方式を採用していたが、令和7年度以降は施工が可能となった箇所ごとに整備する発注方式となり、事業の進捗とともに発注の規模が縮小していく見込みである。 事業の進捗に伴い、外部要因により計画的に進捗を図ることが困難となっているため、今後においてはマネジメントサイクルにより事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画